

皆さん、新年おめでとうございます。

今年は特に県内の平地では雪が少なく、過ごしやすい年末年始を送られたことと思います。始業式で体育館に集まって皆さんの顔を見るというわけにはいきませんが、昨日、今日と廊下で久しぶりに皆さんと挨拶をしたり、笑顔を見ることができて、清々しい気持ちになりました。

さて、今日は古文のお話からしたいと思います。皆さんは国語の時間に徒然草を習った事があるかと思います。徒然草は、作者の名前に親近感を覚えますね。その徒然草の中に、木登り名人の話があります。名人の弟子が木に登って枝を切っているとき、下で見ていた名人は、弟子が高いところにいる時は何も言わず、軒先ぐらいの低いところに来た時に「気を付けて降りてきなさい。」と言ったという話です。何故高い所にいる時に何も言わなかったのですか？と聞くと、高い所にいる時は、言わなくても誰でも気を付ける。だから言う必要は無い。でも低いところに来た時は気が緩んで危ないから、注意が必要だと言うのです。なるほど、と思う話ですね。

何故この話をしたかと言うと、3年生の皆さんは、受験を目の前にして、言わなくても頑張るときですね。だから、3年生の皆さんに、頑張れ、しっかり勉強しろ、とは言いません。もちろん、応援はしたいと思います。体調に気を付けて、万全の状態受験に臨んでくださいと、応援はします。でも、言わなくても頑張っていると思いますので、「頑張れ、頑張れ」と言う必要は無いかと思います。逆に、1年生、2年生の皆さんは、木の低いところにいる状態ですので、周りから声をかけないと気が緩むこともあるかと思います。「1年後、2年後の自分を考えて、今必要な事をしっかりやりましょう。」と励ましたいと思います。

ただし、これが大人数の皆さんに言う事の難しさなのですが、同じ事を言っても、聞く人によって感じ方が違うと思います。今、既に頑張っていて勉強している人は、今の話を更に強く感じて、「そうだ、もっともっと頑張らなくちゃ」と思うかもしれません。頑張るのは良いのですが、既に一杯いっぱいアップアップしている人が、自分を追い詰めるように考えてしまっはいけません。そういう人には、いまの話は少し緩めに捉えて欲しいと思います。逆に、未だあまり頑張っていない余力のある人に限って、先ほどのような話を重く受け止めず、まだまだのんびり構えている、という事があります。これは学校アルアルというか、もしかしたら世の中アルアルかもしれないですが、聞いて欲しい人ほどどこ吹く風で、逆に「君はもう十分頑張っているよ！」という人ほど重く受け止めるという事があるんですね。

言う方の口は一つですから、皆さんに同じことを言いますが、聞く方の皆さんとしては、「自分としては、今の話をどのくらい重く受け止めるべきかな」という事を意識して聞いて欲しいと思います。繰り返しになりますが、アップアップの人はそれ以上自分を追い詰めず、どこ吹く風という人は少し重めに受け止めて欲しいと思います。これは今日の話に限らず、先生がクラス全員に向かって叱咤激励した時にはいつでも意識して欲しいと思います。

最後に、先ほども言いましたが、3年生の皆さんは、体調に気を付けて、万全の状態受験に臨めるようにしてください。応援します。1・2年生の皆さんも、それぞれの目標に向け、息の長い成長を目指しましょう。

新型コロナウイルス感染症に関して、世界的に行動が緩和される傾向にありますが、受験を考えるとただの風邪と同じ程度に考えることはできません。油断することなく、感染症対策の徹底をお願いします。一日も早いコロナ禍の収束を願うとともに、すべての皆さんにとって、2023年が良い年になることを祈り、年頭の挨拶とします。